

新潟市會津八一記念館指定管理者 平成24年度事業計画書

I. 事業の実施に関する業務

(1) 展覧会事業

①企画展「會津八一と入江泰吉 没後20年

～新潟市・奈良県との歴史文化交流協定締結記念～

4月 1日(日)～6月24日(水) 74日間

奈良を愛した八一と写真家入江泰吉。入江の没後20年を記念し、八一の奈良歌と入江の写真をコラボ展示する。さらに両者の共通の友人・画家杉本健吉の作品も陳列。奈良に魅了された芸術家の作品を比較紹介する。併せて、奈良県内にある八一の歌碑拓本も紹介。

②企画展「會津八一の家族 ～會津きい子生誕100年記念～」

6月29日(金)～9月18日(火) 71日間

親族(會津家、高橋家、桜井家)に贈った八一の書作品や書簡などを展示し、家族思いの一面を持つ八一の横顔を紹介する。また、養女・きい子の生誕100年を記念し、きい子に関する書作品、書簡などを陳列し親子の絆を紹介。「山鳩の会」との連携企画。

③特別展 「(仮称)〈新潟展〉京の名宝 相国寺・承天閣コレクション

～応挙・若冲を中心に～

9月29日(土)～11月25日(水) 49日間

「(仮称)〈京都展〉半世紀ぶりの京への進出 會津八一回顧展」

10月 6日(土)～12月 2日(日) 58日間

承天閣美術館と會津八一記念館が各々所蔵する作品の交換展を企画。新潟展は2会場。当館では、応挙と新潟出身の元相国寺住職橋本獨山の作品を展示。市歴史博物館では、相国寺の文化と伊藤若冲の作品を展示。京都展では、八一の生涯、禅語を揮毫した書、京都との関わりについて早大博物館所蔵品とともに紹介する。

④収蔵品展「合作 リスペクト展」 同時開催「會津八一の歌を映す」

第6回写真コンテスト入賞入選作品展

12月15日(土)～平成25年3月24日(日) 79日間

棟方志功、杉本健吉、中田瑞穂、齋藤三郎など芸術家と八一の合作作品を展示し、両者との交友を紹介する。同時に、第6回写真コンテスト入賞入選作品を八一の名品作品とともに一堂に展示。

(2) イベント事業(書籍、常設展、特別展PR)

①「會津八一の歌を映す」第6回秋草道人賞写真コンテスト

公募ポスターと応募要項の制作と発送 (平成24年4月中)

審査・結果発表(平成24年12月上旬)

授賞式・講評会(平成25年1月下旬もしくは2月上旬)

②文芸講演会

4月14日（土） 講師：奈良県立図書情報館 千田稔館長

7月（予定） 講師：未定

③八一祭記念講演会

8月 3日（金） 講師：奈良・薬師寺管主 山田法胤師

④特別展記念講演会

9月28日（金） 講師：相国寺管長 有馬頼底師

10月予定 講師：佐々木丞平氏（京都国立博物館館長）

11月予定 講師：冷泉為人氏（日本美術史研究者・上冷泉家第25代当主）

（3）館長講座「京都相国寺の美術」

①5月10日（木） 「応挙と若冲～江戸絵画の正統と異端」

②6月 8日（金） 「金閣と銀閣～北山文化と東山文化」

③7月 5日（木） 「出会いの美学～室町時代の芸能」

（4）アウトリーチ活動

4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに働きかけ案内を送り、依頼のあるところから実施する。

（5）その他の事業

学習講座、鑑定会、作品解説会などの実施

II. 施設運営に関する業務

（1）平成24年度目標

観客者数 7,600人（前年度実績より増加をめざす）

観覧料収入 2,700,000円（前年度実績より増加をめざす）

（2）人材育成

①上部団体も研修会に積極的に派遣する。

②休館中には、奈良を中心に八一の足跡を訪ねる研修に参加する。

③他館の学芸員との交流の推進を図る。

（3）ホームページの活用

展示やイベント、講座などの行事を随時発信する。また、学芸員のブログを毎週更新し、館内外の活動や様子、感想を親しみやすく発信する。

（4）収蔵品の整理

ボランティアによる書簡6,000通の解読と整理の継続

Ⅲ. その他

(1) 自己評価

- ①入館者アンケートの継続実施
- ②月間入館者数の統計による企画の点検
- ③館長講演会、各種講演会、講座の参加数及び反応による点検